

2024 年 6 月 27 日

報道関係社各位

慶應義塾大学

地球環境に優しい「紙で作ったアートフラワー胡蝶蘭」の生産・販売を開始、リユース可能で在宅就労支援にも貢献

～熊本地震をきっかけに誕生した女性活躍を支援するスーパーウーマンプロジェクト～

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（横浜市港北区、研究科委員長：稲蔭正彦 以下、KMD）の地域みらいプロジェクト（担当教授：岸 博幸）と MICOHANA 株式会社（代表：宮田幸子）は、2022 年 8 月より経済産業省九州経済産業局デザイン経営ゼミを通じ事業化研究を続けていた紙で作る「スーパーフラワー」を活用し、「アートフラワー胡蝶蘭」を商品化しました。このプロジェクトは、（１）日本の折り紙の技術を活かし、高級紙を使った花を一つ一つ手作りで作り上げることで、品質が長年にわたって変わらない地球環境に優しい贈り花を提供すること。（２）生産において子育て中の主婦など外出困難な方の就労機会創出につながること。（３）リサイクル・リユースが可能な供給体制の構築を実現しフラワーロスと低炭素に貢献することで、贈り花の新しいモデルを提案します。

また、普及啓発に向けてこの取組に賛同しプロジェクトに参画している株式会社キイストン（代表：細見昇市）の飲食店のネットワークを活用し、開店祝いなどでの活用を通じて更なる改善と需要の拡大に向けた実証を開始します。

飲食店や小売店の開業など、お祝いゴトの場で高品質な紙製の “社会と環境にやさしい” 循環型アートフラワーを贈る習慣を提案

手作りの温もりで、
花よりも華やかに

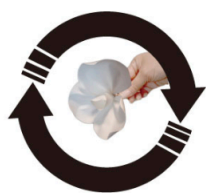
熊本の震災復興で集まった女性達が
家や週末でできる仕事として提案

- ・ 認定技術を持った職人がアートフラワーを作成
- ・ 高級紙を使用し、生花の質感を高く再現
- ・ 自宅や家事の合間にできるスキルとして日々技術向上に取り組んでいます



エコ・SDGsアクションを実践

近年、企業に持続可能な行動が求められる世の中、
お贈りする花を通じてそのメッセージを多くの方に示して見ませんか？



都内回収無料

■ 背景

熊本地震後のシングルマザー就労支援から始まった「スーパーウーマンプロジェクト」に集った女性達が、自身の様々なキャリアを活かして新規創業に向けて事業展開をスタート。地元企業との連携を通じて様々な事業支援を行う中で、紙を活かしたアートフラワーの技法を考案。「スーパーフラワー協会」を設立し、職人の育成とワークショップの開催などを実施してきました。その後、経済産業省九州経済産業局「デザイン経営ゼミ」の1期生として選定され、本学の「地域みらいプロジェクト」による支援がスタート。熊本県外での活動を本格化させ、都内百貨店での販売や、大阪・関西万博の運営参加サプライヤーに選定。2023年に「MICOHANA 株式会社」として同事業を法人化、今年はミラノコレクション、パリコレクションへの参加など更なる活躍の場を広げています。



■ 本事業のポイント「飲食業界における脱炭素・在宅就労の活動支援」

花卉市場は食品ロスと同様に輸送や店頭などでの売れ残り、規格外品などの廃棄問題が発生しており、生花店で取り扱う花の 30～40%が廃棄されてしまうと言われています。こうした中で、品質が長期的に変わらない紙で作ったアートフラワーによるリユースを目指した新たな市場創出は、その製造に関わる在宅での子育て中の女性や男性、外出困難な障害を持つ方の活躍などと合わせ、環境や社会に優しい循環を作る可能性を持っています。

1. 最初に届き、最後まで美しい胡蝶蘭をお祝いの場へ

新店オープンなどで届くお祝いの花の多くが、数週間で廃棄または回収されるため開店日前後に集中して展示されます。アート胡蝶蘭は品質が変わらないため、どの花より早くお届けし、最後までお祝いの言葉を伝え続ける事が出来るため、送り先の方の方だけでなく来店する方にも印象に残る贈り物として好評を得ています。



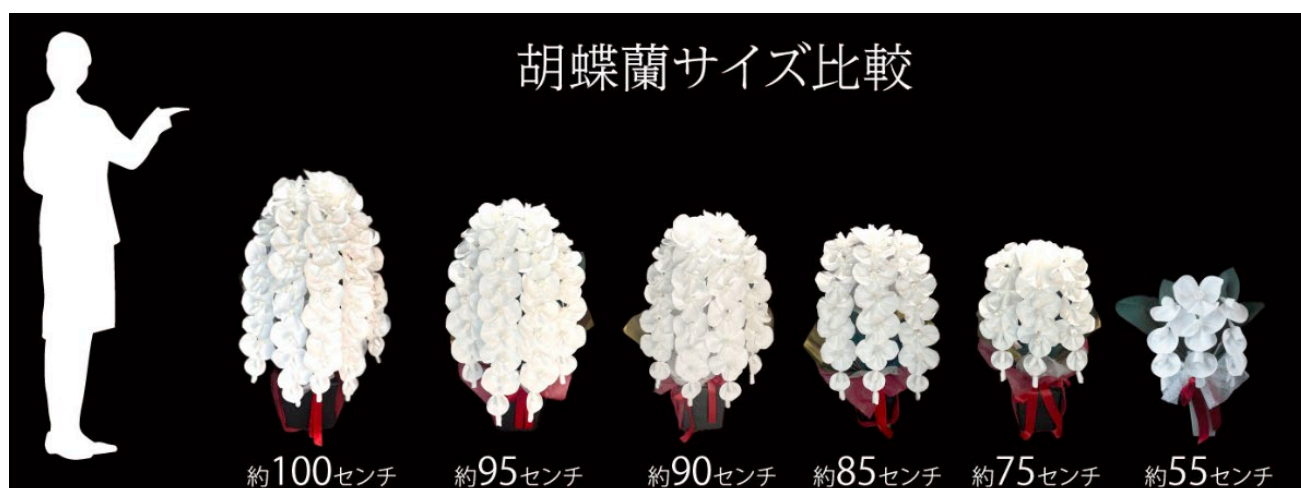
2. フラワー&フードロス削減を通じた飲食業界での脱炭素啓発

花の生産、流通、販売と廃棄による二酸化炭素の排出を削減するアートフラワーを贈ることで、購入する企業の ESG への取組を来場する消費者へ直接発信します。また、キイストン社と連携して飲食店向けのアートフラワー胡蝶蘭の販売・回収スキーム検証を実施し、フードロス削減の取組啓発と合わせて、アートフラワー胡蝶蘭のリユースを通じた循環経済の構築により「作る責任」と「使う責任」の両面で、脱炭素に向けた取組の啓発を進めます。



3. 女性活躍・在宅労働者支援

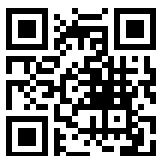
スーパーフラワー協会の認定するアートフラワー職人の育成をサポートし、飲食業界経験者の子育て時における、在宅時などの隙間時間を活用した趣味と実益を兼ねた新しい内職として提案。リスキリングの一つとしてアートフラワー作成により、社会のお祝いの場で披露する機会を広げ、やりがいの創出と持続可能な人材の支援体制構築に役立てます。



アート胡蝶蘭の販売・お問い合わせ

<https://www.superflower-gift.jp/>

美紙花 EC サイト



■ MICOHANA 株式会社（ミコハナ）

高級紙を使ったアートフラワー制作およびスクール、ワークショップ事業を実施。2023 年にミラノコレクション、2024 年にパリコレクションに参加し、ウエディングドレスなどの装飾やアクセサリなどへの展開を開始。

代表取締役 CEO ：宮田 幸子

住所 ：熊本市西区田崎本町 4 番 13 号 セリシエール熊本駅南 201

URL ：<https://micohana.jp>

■ 株式会社キイストン

飲食業界に特化したオーダーメイド型人材採用総合サービス、メディア PR 事業を実施。外食・飲食業界をリードする企業の社長の生い立ちから生き様、独立までの軌跡を紹介する「飲食の戦士たち」などを運営。

代表取締役 ：細見 昇市

住所 ：東京都港区芝 3-17-14 三田浜ビル 8 階

URL ：<https://www.keys.ne.jp/>

■ 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

メディアデザイン研究科（KMD）は、イノベーションを自ら生み出し社会に向けて価値を創出する能力を持つ「メディア・イノベータ」の育成をミッションとしています。メディア・イノベータは分野や国境の枠を超えてグローバルに活動し、ポストパンデミックにおける創造社会を先導していきます。

研究科委員長 ：稲蔭 正彦 （慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科委員長 兼 教授）

住所 ：神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1

URL ：<https://www.kmd.keio.ac.jp/>

□地域みらいプロジェクト

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科岸博幸研究室において「持続可能な地域活性」の実現をミッションとし、専門家視点ではなく地域の実行者目線で最新技術や社会情勢を踏まえた解決案を実情に合わせて企画・実行します。自治体や地場産業、地域住民の方と一緒に活動しながら産官学のオープンイノベーション体制を構築し、農林水産や地場産業の活性化プロジェクトを実行しています。

2021～2022 年に経済産業省九州経済産業局九州デザイン経営ゼミの運営に参画し、九州エリアの地場産業数十社を担当。現在は佐賀県とサステナブルイノベーションプロジェクト、熊本県では県畜産農協共同組合連合会とエシカルなあか牛の生産研究、沖縄県では道の駅「やんばるパイナップルの丘安波」の運営を通じた産業の 6 次化支援などを行っています。

担当教員 ：岸 博幸

（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授）

プロジェクトリーダー ：大江 貴志

（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員）

事務局：オークツ株式会社（大学発ソーシャルベンチャー）

URL ：<https://chiki-mirai.localinfo.jp/>



※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信しております。

【本調査内容に関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員 岸浪 聖

Email ：sei.kishinami@kmd.keio.ac.jp

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（増田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp URL：<https://www.keio.ac.jp/>